

地域生涯（シニア）大学校一覧（案内）

各地（自治体）の地域再生・創生のための高年者人材を養成する施設として全国各地に展開中。生涯学習が個人の生きがいきづくり中心なのに対して、地域の特性再生（まちづくり）や生涯の学友づくりに重点がある。

[制作中]

地域生涯(シニア)大学校一覧(案内) 学校名 運営 所在地 連絡先 創立 入学資格 経費 講座内容 卒業後のようす(まちづくり参加) 特徴(堀内)

[制作中]

悉皆調査ではありません。特徴のあるものを選択ご紹介しておりますので、内容に変更があります。最新情報は運営者におたずねください。

◎兵庫県いなみ野学園 高齢者大学講座(4年制)

[「いなみ野学園」まとめ](#)

○運営 財団法人兵庫県生きがい創造協会

○所在地 兵庫県加古川市平岡町新在家902-3

○連絡先 tel079-424-3342 fax079-424-3475

○創立 1969年

○入学資格 60歳以上の県内在住者 大学院(2年制)

○経費 入学金 6000円 学習費・教材費 50000円

○課目・学科 4年間30回・1日180分

○専門講座4 健康づくり学科 100 文化学科 100 園芸学科 100 陶芸学科 40

○教養講座 伝統行事 そろばん 遺言と相続 認知症 介護 地域文化遺産 ..

○クラブ活動 自治会のもとに30余のクラブが活動。囲碁、園芸、絵画、華道、ゲートボール、コーラス、ゴルフ、茶道、探訪、詩吟、写真、手芸、書道、水墨画、短歌、ダンス、テニス、能面、俳句、舞踊、民謡、盆栽、謡曲(仕舞)、歌謡曲、表装、英会話、手描き友禅、将棋、川柳、インターネット、グラウンド・ゴルフ、太極拳など。

○卒業後のようす 2万人が活動。地域支部が地域活動をおこなっている。

○特徴(堀内) 1999年の「国際高齢者年」に、高齢者大学の草分けとして、「いなみ野宣言」をおこなっている。

1 高齢期に対する自己及び社会一般の意識改革に努めます。

- 2 心身ともに健康で、自立した生活づくりに努めます。
- 3 新たな自己発見、自己実現をめざし、社会に貢献するよう努めます。
- 4 地域の人と自然との共生に努めます。

5 英知を集め、21世紀へ夢と希望をもって行動します。

学校教育と社会教育の良さをとりいれて、卒業後に自分のためとまちづくりに活かす工夫。「健康福祉」は自分の健康と周囲の人の福祉に、「文化」は自分の知的関心を満たすとともに地域の伝統や歴史を活かしてまちを豊かにし、「園芸」は自分の庭や植栽から地域の緑のまちづくりに。「陶芸」は日用品の制作と手作り技術の継承と、卒業生が多くなれば、それだけ市民が充実し、まちづくりの人材が増すというカリキュラムの組み方からは学ぶべきところが多い。

◎成田市生涯大学院（3年制）

○運営 成田市教育委員会

○所在地 成田市囀護台1385-6 成田市生涯大学校

○連絡先 0476-20-3339

○創立 1978(昭和53)年に成田市老人大学院として開講し、2001(平成13)年に生涯大学院と改称

○入学資格 市内に住む60歳以上の人。各学年100人

○経費 教材費など実費を除けば無料

○課目・学科 6

○専門講座6 書道 園芸 陶芸 油絵 体操 音楽

○教養講座 ○課外活動 グラウンド・ゴルフ大会 学園祭 広報誌「すえひろ」 書道・陶芸・油絵展

年間教養講座を25講座、専門講座を15講座 そのほか学園祭や作品発表展

○卒業後のようす 1200人の卒業生

○特徴(堀内) 社会環境の変化に順応していく能力を再開発するための学習機会を提供して、高齢者が大切な社会の担い手として、その豊かな能力を地域社会の向上のために生かすことによる新たな生きがいの創造を促すことを目的とする。市民の高齢期の生きがいを高める施設として設置されたあと、より広くより深く学べるように講座内容の充実につとめてきた。専門講座は芸術分野を中心にしているが、教養講座は自分史の書き方、心に響く話し方、相続税について、地球環境の現在、野生生物と自然、薬の副作用、調理実習、手話を学ぶなど高年者のニーズに応えている。

◎シマネスクくにびき学園(島根県高齢大学校)(2年制)

○運営 島根県社会福祉協議会シマネスクくにびき学園

○所在地 273-8501 松江市東津田町1741番地3 いきいきプラザ島根

○連絡先 tel 047-460-6311 fax 047-460-6312

○創立 1983年、老人大学校を開校。2004年、ふなばし市民大学校として開校

○入学資格 満60歳以上の島根県在住者

○経費 入学金10,000円。授業料 18,000円。

○講座内容 4学科 東校・西校

社会文化科(東部25・西部20人)、園芸科(東部25・西部20人)、陶芸科(東部25・西部20人)、健康福祉科(東部25・西部20人)、合計東部校100人、西部80人。

○総合講座 地域活動、健康づくり、レクリエーション、介護予防、地域の身近な話題(県政、時事問題等)、学生親睦交流など。

○専門講座 社会文化科 身近な出雲・石見地方の歴史、民俗、文化、芸術、宗教等について講義だけでなく現地見学も交えて学ぶ。園芸科 草花、野菜、果樹、庭の手入れ等についての基礎的な知識や技術を実習を交えて学ぶ。陶芸科 陶芸についての基礎的な知識や技術を実習により様々な陶器を作製することにより学ぶ。健康福祉科 ニュースポーツやレクリエーションなどの実習を交えて健康、介護、地域福祉、ボランティア等について学ぶ。

○クラブ活動(同好会活動) うたごえ・水墨画・囲碁・卓球・書道・庭園探訪。

○学友会活動 学園生活をより豊かに、交流を深めるため、全学生をもって、学友会を組織し、修学旅行・研修旅行・学園祭・スポーツ大会等の自治活動を展開。

○卒業後のようす 約3100人。

○特徴・評価(堀内)「日本一の田舎づくり」をめざす島根県にとって高齢者大学校の卒業生は貴重な人材である。豊富な経験と技術を持つ高齢者が、4学科それぞれの幅広い知識や新たな仲間を得ることにより、生きがいのある生活を営むとともに、地域活動の担い手となる。4学科のバランスもよく、個人の知識や能力を向上させて地域社会の発展に寄与する人材の養成に役立っている。

◎明石市立高齢者大学校あかねが丘学園(3年制)

○運営 明石市立高齢者大学校あかねが丘学園

○所在地 673-0962 兵庫県明石市松が丘5-7-1

○連絡先 tel 078-918-5415 fax

○創立 1981年、2年制として開校。1983年、4年制に。2000年、小学校(廃校)に移転。2002年から3年制。2009年、西分校(二見町東二見)開校。

○入学資格 60歳以上の市内在住者。

○経費 年額 15,000円。ほかに実習費、障害保険代、学生自治、クラブ会費。

○課目・学科 週1回35日以内。

本校 景観園芸30 生活福祉30 ふるさとコミュニティ40 音楽交流25、健康スポーツ交流50 (5コース165人。修業3年) 西分校 健康科学35 陶芸文化16 (2コース51人。修業2年)

○専門講座

<本校> 景観園芸コース 園芸の基礎知識と技能の習得、景観デザイン、自然環境の保護などについて学び、園芸を通じた世代間交流や地域交流、まちづくりへの参加参画の体験・実践。<地域活動実践例> 幼稚園や小学校、施設の花壇作りを通じた交流、自然観察会の開催。

生活ふくしコース 福祉に関わる理念、衣食住や環境など生活の諸問題、障害の理解と支援などを学び、生活文化の質の向上や福祉のまちづくりに取り組む。<地域活動実践例> 子育て支援活動、高齢者施設利用者との交流、環境保護活動。

ふるさとコミュニティコース 明石の人物、歴史、地理、文化、自然環境などを学び、地域資源として活用。また地域課題を研究し、地域、関係機関とネットワークを結び、コミュニティを育てる方法を学ぶ。<地域活動実践例> 遊びや文化の伝承を中心にした世代間交流、史跡ガイド、明石の環境調査、地域の安全パトロール。

音楽交流コース 音楽の基礎知識、リズム練習、声楽、器楽など、技術の習得を行ないながら、音楽を通じた世代間交流、地域交流を企画実践する力を養う。楽器はリコーダーとキーボードを中心に学び、合奏では各自の得意な楽器を担当。<地域活動実践例> 幼稚園、小学校や福祉施設で歌や楽器演奏を中心にした交流、地域イベントの主催または出演。

健康スポーツ交流コース 健康づくりの基礎理論、運動やゲームのしかたと指導法、イベントの運営方法などを講義と実習を合わせて学ぶ。周囲の人達や地域の健康づくりに指導的役割を果たし、地域交流・世代間交流の輪を広げる。<地域活動実践例> 軽スポーツやゲーム、遊びなどを通じた交流会の開催、健康づくりのスポーツや知識を普及・指導。

<西分校> 健康科学コース 健康づくりのための基礎理論と、体操やニュースポーツの実習、地域交流などに役立つゲームなどを学ぶ。さらにこれらを応用したイベントの運営や指導法を身につける。<地域活動実践例> 軽スポーツやゲーム、遊びなど

を通した交流会の開催、健康づくりのスポーツや知識を普及・指導。

陶芸文化コース 陶芸技術を習得するとともに、陶芸に関連する地域の歴史や文化など社会的なつながりを考察。また、これらを地域に発信するための手法を学ぶ。＜地域活動実践例＞市民、親子などを対象にした陶芸教室、視覚障害者作陶補助、チャリティバザールの開催。

あかねが丘学園ボランティア会 社会福祉協議会や学校、福祉施設など、関係機関からの要望に応じて、ふれあい活動、イベント開催の支援、伝承活動、クリーン活動などをするほか、常設の6グループが、定期的に市内の福祉施設、病院、総合福祉センターなどで活動している。

○卒業後のようす あかねが丘 OB ボランティア協議会 卒業生の約 80 のボランティアグループが活動している。卒業後は地域社会でネットワークを広げながら、さらに実践力をのばせるよう活動の継続支援を行う。卒業生は学んだことを活かし地域の中で活躍しており、それが学園の誇りとなっている。卒業生は約 3000 人。

○特徴・評価(堀内) ボランティア活動、地域交流や世代間交流、自治会活動など、地域づくりに活躍する人材の育成を目標に学習を行う。これまでの長年の経験と知識にさらに磨きをかけ、気の合う仲間を見つけ、一緒に学んだ仲間と「地域デビュー」をめざすというのが目標。1・2学年では知識・技能の習得と仲間づくりに重点を置き、3学年で各自が選んだテーマでグループをつくり、卒業とともに地域活動を実践している。上記したように、在学中から社会活動の実践が組み込まれており、「まちづくり」のための大学校としての成果は際立っている。

◎姫路市好古学園大学校(4年制)

○運営 姫路市交流振興局好古学園大学校

○所在地 〒670-0081 姫路市田寺東2-2-1

○連絡先 tel 079-297-3363 fax 079-297-7996

○創立 1970年8月に姫路市立老人大学好古学園として開校。2004年4月に名称変更。

○入学資格 60歳以上。市外の人にも門戸を開放。1学年 600人。

○経費 授業料は徴収しない。市外の方は年額 6000円。

○課目・学科 7学科 4年制。大学院 2年

園芸科 陶芸科 書道科 史学科 美術科 手芸科 音楽科

○専門講座

園芸科 庭木の手入れ、野菜園芸、果樹園芸、山野草・草花園芸、盆栽の手入れ、

水石の観賞。陶芸科 手捻り、成型、素焼、楽焼、硬焼、釉薬づくり、その他全般。
書道科 漢字・かなの古典臨書、創作及び鑑賞、実用書。史学科 古代、中世、近
世、現代に至る日本史及び世界史・地方史、民俗学。美術科・洋画 油絵(デッサン、
クロッキー、淡彩)木彫 彫刻と鑑賞。手芸科 木目込み人形、押し絵、手編み、押
し花、ガラスアート等、手芸全般。音楽科 歌唱、器楽(鍵盤ハーモニカ)、鑑賞、楽
典。○クラブ活動 水彩画 民謡 詩吟 俳句 民踊 ダンス 川柳 カメラ 謡曲 華
道 ハイキング ゲートボール 大正琴 囲碁・将棋

○卒業後のようす

○特徴・評価(堀内) 高齢者に生涯学習の場を提供し、知識や教養、技能を深めて
もらうため。生きがいの創造 生涯学習の機会と場の提供 地域社会活動への参加
(設立趣旨)。市外の人にも開放している。歴史の古く4年制なので、生きがいのため
の生涯学習の場となっている。2010年に「創立四十周年記念式典」をおこなった。自
治体の施設としては全国の先駆けて開設した。

◎ふなばし市民大学校(1年制)

○運営 船橋市市社会教育課

○所在地 273-8501 千葉県船橋市市場2-6-1

○連絡先 tel 047-460-6311 fax 047-460-6312

○創立 1983年、老人大学校を開校。2004年、ふなばし市民大学校として開校

○入学資格 いきいき学部は60歳以上の市内在住者

○経費 まちづくり学部 無料 いきいき学部 10,000円(実習教材費は自己負担)

○課目・学科 2学部9学科

まちづくり学部4学科 スポーツプランナー30 ボランティア30 学びのコーディネー
ター30 ふなばしマイスター30人。いきいき学部5学科 一般教養(1・2)各50
健康(1・2)各50 パソコン(1・2・3)各25 陶芸(1・2)各25 園芸(1・2)各25人。

○専門講座 まちづくり学部は授業をとおして学んだ知識・技術をもとに、まちづくりの
地域活動に参加するコミュニティーリーダーの育成。いきいき学部は講義と実践によ
る学習活動やクラス会での活動をとおして生きがいづくり、仲間づくりをめざす。

○クラブ活動 各学科にクラス会を設けて、自主的に活動している。

○卒業後のようす スポーツ健康大学OB会、いきいき同窓会、ボランティアサロンふ
なばしなど、自在な形で活動している。

○特徴・評価(堀内) ふなばし市民大学校は、別々に実施されていた老人大学校、
ボランティア大学、スポーツ健康大学、生涯学習コーディネーター養成講座を一つに

まとめ、より充実させて 2004 年から開校したもの。まちづくり学部に 2010 年度からふなばしマイスター学科が加わった。が、まちづくり学部全体としての整合性を得るにはなお工夫の余地がある。また長い経緯をもつ老人大学校以来の生きがいづくりも、1 年制ということもあり、個人を超えた市民参加へのいきいきした展開を見出すまでにはいたっていない。

◎ 檜原市まほろば(高齢者)大学校(2年制)

- 運営 檜原市まほろば(高齢者)大学校運営委員会
- 所在地 檜原市久米町 652-2 檜原市商工経済会館内
- 連絡先 tel 0744-28-3551
- 創立 2007年
- 入学資格 60歳以上の市内在住者
- 経費 受講料 7000円(教材費は学生負担)
- 課目・学科 8 年間8回 毎回1時間30分
- 専門講座8 生活科学 30 美術・工芸 30 歴史・郷土 30 国際関係 30 文学 30 スポーツ・保健 30 政治・経済 30 福祉・ボランティア 30 人
- クラブ活動
- 卒業後のようす
- 特徴・評価(堀内) 生きがいづくりと学習した成果を地域で生かすことを目的として設立。8課程と学習課程を多くして次々に別の受講コースを選択できる。大学校と長いつきあいになることで人材の蓄積がしやすくなる。学んだことを地域に活かすということでは、かならずしも成果が明確ではないことが想定される

◎ 千葉県生涯大学校(2年制)

- 運営 千葉県生涯大学校事務局
- 所在地 〒260-0801 千葉市中央区仁戸名町 666-2
- 連絡先 tel 043-266-4705 fax 043-266-4943
- 創立 1975年。
- 入学資格 60歳以上の県内在住者。社会参加意欲のある人。一般課程 330 人。通信課程 550 人もある。千葉市の「京葉学園」のほかに東葛飾学園、東総学園、外房学園、南房学園がある。5学園6校舎。
- 経費 受講料 18,000 円(教材費は学生負担)

○課目・学科 4

週1回 年間37日

○専門学科4 福祉科 70 生活科A35・B35 園芸科 70 陶芸科A25・B25 人。

共通科目 60 時間。専門科目それぞれ 88 時間。

○クラブ活動 詩吟、書道、俳句、短歌、絵画、ダンス、皮革工芸、写真、囲碁など。

○卒業後のようす 3万人を超える卒業生がいる。卒業後も共に学んだ学生同士のつながりを維持するとともに、卒業生による広域的な組織の下で、各地域において多様な活動を展開している。

○特徴・評価(堀内) 本格的な少子高齢化社会の進展にともない、高齢者が社会環境の変化に順応する能力を再開発し、心豊かで生きがいのある生活を営むための環境づくりは、高齢者福祉の大きな課題となっています。生涯大学校は、60歳以上の方々が、新しい知識を身につけ、広く仲間づくりを図るとともに、学習の成果を地域活動に役立てるなど社会参加による生きがいの高揚に資することを目的としています。

(設置の趣旨)

福祉科は、社会福祉活動に必要な知識等の習得。生活科は、新しい時代の中で健康的・合理的な社会生活を営むための知識等の習得。園芸科は、園芸に関する基礎的な知識・技術の習得及び実習。陶芸科は、陶芸に関する基礎的な知識・技術の習得及び実習など。

開校以来35年、高齢者の生きがいづくりに先導的な役割を果たしてきたが、高齢者及び高齢者を取り巻く環境は大きく変化しており、生涯大学校の役割も県民ニーズに適合したものとすることが求められている。このような状況の中で、2008年5月に「千葉県生涯大学校のあり方」について千葉県知事から諮問を受けた千葉県社会福祉審議会老人福祉専門分科会が検討を行い、2011年1月に答申をおこなっている。長い歴史をもち、卒業生も多く、先駆的な学園(大学校)として個人の生きがいづくりには貢献してきたが、地域づくりへの科目には整合性がなく、また卒業生のなかに精神的な絆を形成する歴史・文化や風土への仔細なアプローチができていない。そのために学園に蓄積がなされていない。専門学科の修正が急務であろう。

◎沖縄県かりゆし長寿大学校(1年制)

○運営 沖縄県社会福祉協議会 沖縄県いきいき長寿センター

○所在地 沖縄県総合福祉センター東棟5階 那覇市首里石峰町4-373-1

○連絡先 t e l 098-887-1344 f a x 098-887-1349

○創立 1991年。

- 入学資格 60歳以上の県内在住者
- 経費 受講料 15,000円（教材費は受講者負担）
- 課目・学科 3週1回4時間 火曜・水曜コース（定員180人）
- 専門講座3 地域文化学科 60 健康福祉学科 60 生活環境学科 60
- クラブ活動 年16回1時間30分
- 卒業後のようす 20期まで各期会の交流を密にしている。クリーン作戦も。
- 特徴・評価（堀内） 男女比を同じにしている。大運動会も家族総出でおこなう。各科共通して「地域活動」や「ボランティア」のありかたを知り、口腔ケア・転倒予防・栄養改善といった「介護予防」を学ぶ。「郷土の歴史と文化」「沖縄の冠婚葬祭」「生活と環境問題」「くらしの法律」も共通。あとは「地域文化学科」なら民話や伝承、県内の史跡や埋蔵文化、伝統工芸など、「健康福祉学科」なら介護実習、救急法、認知症サポーター講座、体力測定など、そして「生活環境学科」なら住環境、リサイクル・エコの実践、リサイクル施設見学、生ごみを利用した土づくりも。個人の生活でのメリットとともに地域活動への関心のひろがりやが養成できるよう工夫している。

◎江戸川総合人生大学（2年制）

- 運営 江戸川区文化共育部文化課 江戸川総合人生大学 北野大・学長
- 所在地 〒133-0061 江戸川区篠崎町7-20-19 篠崎文化プラザ
- 連絡先 tel 03-3676-9075
- 創立 2004（平成16）年10月
- 入学資格 年齢制限なし。外国人も可
- 経費 30,000円
- 課目・学科 2学部4学科 年間30回
- 専門講座2 地域デザイン学部（江戸川まちづくり学科 国際コミュニティ学科） 人生科学部（子ども支援学科 介護・福祉学科） 各学科25人程度。
- 卒業後のようす 一期生からの修了生が学んだ成果を活かして社会参加している。江戸川区にはインド人居住者が多い。国際コミュニティ学科も国際交流で活躍している。
- 特徴・評価（堀内） 区民が地域の課題を発見・認識し、その解決に向けて互いに知恵を出し合い、社会貢献へとつなげられる学びのシステムをつくり、「共育」「協働」の社会をめざす（基本理念）。「下町の心豊かであたたかい地域社会」を守り育てていきたい（学長北野大さん）。NHK解説委員だった村田幸子さんも介護・福祉学科長を務める。江戸川区は、高齢者を老人と呼ばずに熟年と呼び、福祉部に「すこやか塾年課」がある。60歳から参加する「くすのきクラブ」（1958年設立、207クラブ）と「リズム運動」（1980年開始、2

04団体)が高齢者の生涯学習やボランティア活動や健康づくり、仲間づくりに貢献している。修学生は高年者が多い。

◎シニア・カレッジ 世田谷区生涯大学(2年制)

○担当課 世田谷区生涯現役推進課 03-5432-1111

○運営 世田谷区社会福祉協議会

○所在地 世田谷区立老人会館内 生涯大学事務局 03-3419-2341

○創立 1977年6月。(30周年の2007年に世田谷区老人大学より改称)

○入学資格 60歳以上の区内在住者

○経費 入学金なし 年額12000円 ほかに学習費・教材費

○課目・学科 5年間30日・週1回木曜日

・専門講座(コース)5 社会と歴史 読・書再体験 福祉学習・体験・利用
生活文化 東京と世田谷の歴史 各30人 学習の日には必ず「健康体育」
(1時間)をおこなう。

・自主研究会 修了後に合同でさらに2年間学習する。講義内容・日程は自主的に
おこなう。

○卒業後 4000人を超える修了者。同窓会に加入。講演会、見学会、幅広く
活動。

○特徴・評価(堀内) 還暦後の長い「第三の人生」を、より健やかに豊かにする
ために設立された。「見知らぬ自分」の発見と自己啓発を通して、それぞれが
新しい人生(ライフスタイル)を創造するとともに、習得した知識と経験を活
用してコミュニティづくりに参加する。新しい高齢者文化の創造と発信の基地。
新しい人間関係を築き、交流と連帯を生み出す場として、さらにシニア世代の
自主的な社会活動の一つの拠点となる(設立の趣旨から)。公開文化講演会、学
園祭、いきいきせたがや文化祭(高齢者クラブ・シルバー人材センター・生涯
大学の3団体)など学外にも接点がある。コース割に安定感を欠くが、先進
事例として注目。

◎栃木県シルバー大学校(2年制)

中央校(宇都宮市) 南校(栃木市) 北校(矢板市)

○運営 とちぎ健康福祉協会

○所在地 中央校 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森2階

○連絡先 tel028-650-3366 fax028-627-2522

○創立 2004年から学習内容を変更。○入学資格 60歳以上の県内在住者。中央校 320人 南校 120人 北校 120人

○経費 授業料 18000円 資料代 2000円

○課目・学科 4

○専門科目4 いきいきスポーツ学科 はつらつ健康学科 支え合い福祉学科 ふるさとふれあい学科

○一般科目 ○クラブ活動 1年次基礎課程 一般科目 40日 80時間 専門科目 10日 20時間 2年次応用課程 一般科目 30日 60時間 専門科目 40日 100時間

○卒業後のようす 入学者を「生きがい推進員」に委嘱。卒業後は地域活動のリーダーに

○特徴(堀内) 大学校で学んだ知識や技術を活かして市町村と連携しながら地域活動をおこなう。いきいきスポーツ学科は地域で開催されるスポーツやイベントの運営、はつらつ健康学科は健康づくり事業の運営、支え合い福祉学科は社会福祉施設等や生活エリアでのボランティア活動、ふるさとふれあい学科は地域の文化を伝えるボランティア活動など実践的だが、内容を面白くしていくことと地域リーダーの養成とのバランスが課題。

[制作中]

悉皆調査ではありません。特徴のあるものを選択しておりますので、内容に変更があります。最新情報は運営者におたずねください。